近場のお手軽!? 秘境へ…②

富士の麓の未体験ゾーン・樹海ツアー
神秘の森の秘密が明らかに!?

山梨県富士河口湖町

晴天の7月某日、河口湖駅に男女7人が集合。
樹海の奥へ分け入るガイドツアーに参加した。
事故防止と自然保護のため、
立ち寄る場所や詳しい内容は事前に知らされず。
期待と冒険心が、否応なしにかき立てられる！

取材・文・撮影＝小越建典

洞窟内部は氷でつるつる

探検する富士風穴は、照明も手すりもない自然のままの洞窟。足場が氷になっているところは、みんなカニ歩き

洞窟探検を終えて地上へ。日光のまぶしさを感じる瞬間が格別

絡み合う木の根に感動

樹海の大地は溶岩でできているため、ほとんど土がない。そのため、木の根が露わになって、地面をはっている

ガイドが秘境の旅を盛り上げる

ネイチャーガイドの栗林秀旭さんは、富士山を撮るために移住してきたプロの写真家でもある

車両通行止めの樹海へ

天然記念物の青木ヶ原樹海は、県によって厳しく自然が保護されている。内部には徒歩で行くしかない

富士山麓に現在残っている樹海は、全体が国の天然記念物に指定される貴重な森林だ。案内された入り口から1分も歩けば、ヒノキやツガなど、針葉樹が密集する深い森。地面は富士山からの溶岩で、根を絡ませるようにして立つ樹々の様子に、たくましい生命の力を感じる。

いざ、立ち入り禁止の洞窟へ！

ツアー前半の目玉は、許可無しでは立ち入れない風穴の探検だ。樹海のど真ん中に、幅5mほどの大きな穴がぽっかりと開いている様子は、まさに秘境の趣！　ヘルメットとヘッドライトを付けて、暗闇の世界へ入っていく。

夏でも洞窟内の気温は3度ほどにしかならず、つららや氷筍（ひょうじゅん）が数多い。中にある人工物はハシゴ1本のみ。備え付けの照明などはもちろんないが、わずかなヘッドライトに照らされる岩と氷の世界は、観光向けの洞窟よりずっと神秘的に感じられる。

なお、初めはちょっと面食らうほどワイルドな冒険だが、ガイドがしっかりエスコートしてくれるので安心だ。共にツアーに参加した女性グループの皆さんも、はじめから入らなかった一人をのぞき、笑顔でおそらく初めてのチャレンジを楽しんでいた（80歳を超える方も！）。

樹海から究極の森へ

洞窟を出ると、一行はさらに奥地へ進む。しばらく歩いたところで、ガイドの栗林秀旭さんに促されると、森の様相が変わっているのに気が付いた。足下は溶岩の砂利から、絨毯のようにやわらかい土となり、密集した針葉樹林から、間隔の広い広葉樹林になっている。

栗林さんによれば、これこそが世代を重ねてできあがった「究極の森」。森が育つと、最終的にはこのようなブナ林になるのだという。対して、樹海のような密度の濃い針葉樹林は、比較的若い森林の特徴だそう。両方を見比べながら歩くと、数百、数千年かけた森の成長を一気に見たような気分になり、ツアーのおもしろみが、がぜん増してくる。

ツアーのクライマックスは、樹齢400年ともいわれるブナとミズナラの巨樹めぐり。5～6人がかりでやっと手を回せるような太い幹、ゴツゴツとしたコブや根に触れていると、それだけでパワーをもらえそうだ。

コース全長は約3㎞で、日頃運動不足の方には、ちょうど良い運動になるだろう。河口湖駅の出発は9時30分なので、その日の朝に東京を出れば、十分間に合う。近隣ホテルまで迎えに来てくれるサービスもあり、前泊して湖畔のリゾートと、秘境の旅をいっぺんに体験するのもオススメだ。

樹海とブナ林の境

赤いラインから右が樹海、左が「究極の森」のブナ林。樹海の方が樹が密集しているため、日差しが入りづらい

おにぎりのランチを用意

ツアーには弁当と飲み物も付いており、ほぼ手ぶらで参加できる。森のおいしい空気の中で、いただきます！

樹海で方位磁石は使える？

栗林さんが方位磁石を使えるか実験。樹海の中でも、地面から話したところに置けば、磁石は正確に方角を指す

秘境memo　青木ヶ原樹海・洞窟探検ミステリーコース

- 期間／11月30日までの毎日開催　●料金／6000円
- 集合場所／富士五湖周辺各ホテル、富士急行河口湖駅
- 参加条件／要予約
- 問合せ／冨士エコツアー・サービス☎0555・89・2020。
- その他に、富士河口湖町公認ネイチャーガードツアー☎0555・82・3111（西湖コウモリ穴案内所）やアウトバック・アドベンチャーツアーズ☎555・20・9266でも樹海を体験できるツアーがある

- 観光問合せ／富士河口湖町観光課☎0555・72・3168
- 交通／🚌富士急行河口湖駅からレトロバス西湖・青木ヶ原線で00～00分の西湖コウモリ穴・竜宮洞穴入口・西湖野鳥の森公園下車、徒歩35～45分
🚗中央高速道路河口湖ICから10分

車のナンバーまで富士山！

主催する冨士エコツアー・サービスのワゴンは、ナンバーが富士山の標高と同じ3776！　並々ならぬこだわりだ……

五感で触れる樹海

栗林さんのガイドは、五感で森を感じさせてくれる。「サロンパスの木」の皮のにおいをかぐ参加者たち